機２　完２　可２

法務省民二第２５５８号
平成２２年１０月１２日

法　務　局　長　殿
地方法務局長　殿

法務省民事局民事第二課長

権利能力なき社団の構成員全員の総有に属する第三者名義の不動産に対する強制執行における登記嘱託について（依命通知）

標記について，最高裁判所事務総局民事局長から法務省民事局長あて別紙甲号のとおり照会があり，別紙乙号のとおり回答がされましたので，この旨貴管下登記官に周知方お取り計らい願います。

別紙甲号

最高裁民三第000735号
平成２２年９月２８日

法務省民事局長　殿

最高裁判所事務総局民事局長　永　野　厚　郎

権利能力なき社団の構成員全員の総有に属する第三者名義の
不動産に対する強制執行における登記嘱託について（照会）

先日，第三者名義で登記された権利能力なき社団の構成員全員の総有に属する不動産については，権利能力なき社団を債務者とする金銭債権を表示した債務名義の正本のほか，当該不動産が当該社団の構成員全員の総有に属することを確認する旨の確定判決又はこれに準ずる書面を添付して，当該不動産に対する強制執行の申立てをすることができるとの判決が言い渡されました（平成２２年６月２９日最高裁判所第三小法廷判決）。

この判決の趣旨に基づく強制執行の申立事件について強制競売開始決定がされたとき，当該開始決定上の債務者の表示と当該開始決定に基づく差押えの登記嘱託書に記載された登記義務者（不動産登記記録上の所有者）の表示は一致しないこととなります。このため，登記原因を証する情報として強制競売開始決定正本を添付して差押えの登記嘱託をする場合は，差押登記嘱託書及び強制競売開始決定の記載については別紙の取扱いのとおりとするのが相当と考えるところ，いささか疑義がありますので，貴局の御意見を承知したく照会します。

なお，上記のような事案であっても，登記原因を証する情報として登記原因を裁判所書記官が証明した書面により提供する場合の登記嘱託書及び登記原因証明情報の取扱いについては，平成１７年２月２３日付け法務省民二第４９０号をもって回答されたとおりとします。

法務省
22.9.29
1349

おって，本照会への回答につきましては，貴管下法務局及び地方法務局の登記官にその旨を周知いただくようお願いいたします。

（別紙）

1　登記嘱託書の登記権利者義務者目録には，登記記録上所有者とされている者の住所氏名を登記義務者として記載するとともに，その下に，強制競売事件の債務者である権利能力なき社団の名称及び住所を付記する。（記載例１）

2　強制競売開始決定の当事者目録には，所有者であることが確定判決等で確認された権利能力なき社団を債務者として記載する。

なお，登記記録上所有者とされている者については，強制競売開始決定の物件目録においてその氏名又は名称を付記する。（記載例２）

3　この取扱いは，強制競売の申立てのみならず，仮差押えの申立ての場合にも適用する。

以上

（記載例１）

【登記原因証明情報に開始決定正本を添付する場合】

平成○○年（ヌ）第○○号

登　記　嘱　託　書

○○法務局○○出張所　御中

平成○○年○○月○○日

○○地方裁判所

裁判所書記官　○　○　○　○

登記の目的	差押
原　　因	平成○○年○○月○○日○○地方裁判所強制競売開始決定
権利者・義務者	別紙登記権利者・義務者目録記載のとおり
添付書類	強制競売開始決定正本

課税価格	債権金額　金○○，○○○，○○○円
登録免許税	金○○，○○○円

不動産の表示　　別紙物件目録記載のとおり

登記権利者・義務者目録

〇〇市〇〇区〇〇町〇丁目〇番〇号

登記権利者　　株式会社〇〇〇〇

〇〇市〇〇区〇〇町〇丁目〇番〇号

登記義務者　　乙　野　太　郎

（強制競売開始決定における債務者の表示

〇〇市〇〇区〇〇町〇丁目〇番〇号　　甲山連合会　）

物　件　目　録

1　所　　在　　○○県○○市○○町○丁目
　　地　　番　　○○番○
　　地　　目　　宅地
　　地　　積　　○○・○○平方メートル

2　所　　在　　○○県○○市○○町○丁目○番地○
　　家屋番号　　○○番○
　　種　　類　　居宅
　　構　　造　　木造瓦葺２階建
　　床　面　積　　１階　○○・○○平方メートル
　　　　２階　○○・○○平方メートル

（記載例２）

平成○○年（ヌ）第○○号

強　制　競　売　開　始　決　定

当事者　　別紙目録のとおり

請求債権　別紙目録のとおり

債権者の申立てにより，上記請求債権の弁済に充てるため，別紙請求債権目録記載の執行力のある債務名義の正本に基づき，債務者の所有する別紙物件目録記載の不動産について，強制競売の手続を開始し，債権者のためにこれを差し押さえる。

平成○○年○○月○○日

○○地方裁判所

裁判官　　○　○　○　○

当　事　者　目　録

〇〇〇－〇〇〇〇　〇〇市〇〇区〇〇町〇丁目〇番〇号

申立債権者　　株式会社〇〇〇〇

代表者代表取　〇〇〇〇

締役

〇〇〇－〇〇〇〇　〇〇市〇〇区〇〇町〇丁目〇番〇号

債務者　　甲山連合会

代表者代表　　乙　野　太　郎

理事

請　求　債　権　目　録

債権者債務者間の○○地方裁判所平成○○年（ワ）第○○号事件の執行力ある判決正本に表示された下記金員

記

(1) 元　金　金○○，○○○，○○○円

(2) 利息金　金○○○，○○○円

ただし，(1)の金員に対する平成○○年○○月○○日から平成○○年○○月○○日まで年○%の利息金残

(3) 損害金

ただし，(1)の金員に対する平成○○年○○月○○日から完済に至るまで年○○%の割合による遅延損害金

物　件　目　録

1　所　　在　　○○県○○市○○町○丁目
　　地　　番　　○○番○
　　地　　目　　宅地
　　地　　積　　○○・○○平方メートル
　　登記記録上の所有者　乙　野　太　郎

2　所　　在　　○○県○○市○○町○丁目○番地○
　　家屋番号　　○○番○
　　種　　類　　居宅
　　構　　造　　木造瓦葺２階建
　　床面積　　１階　○○・○○平方メートル
　　２階　○○・○○平方メートル
　　登記記録上の所有者　乙　野　太　郎

別紙乙号

機２　完２　可２

法務省民二第２５５７号
平成２２年１０月１２日

最高裁判所事務総局民事局長　永　野　厚　郎　殿

法務省民事局長　原　優

権利能力なき社団の構成員全員の総有に属する第三者名義の不動産に対する強制執行における登記嘱託について（回答）

本年９月２８日付け最高裁民三第０００７３５号をもって照会のありました標記の件については，貴見のとおり取り扱われて差し支えありません。

なお，この旨法務局長及び地方法務局長に通知しましたので，申し添えます。